

岐阜県図書館協会

No.44

平成28年3月

# 会報

事務局

〒500-8368

岐阜市宇佐4-2-1

岐阜県図書館内

電話(058)275-5111

## 岐阜県公共図書館協議会活動報告

本協議会では、県内の加盟館が連携し、図書館活動振興のための各種事業を行っている。

館長研修会は、「住民とともにつくる図書館 ― ひとづくり・まちづくりの拠点としての図書館を目指して ―」をテーマに、伊万里市民図書館長の古瀬義孝氏を講師に迎え、県図書館で5月13日に開催した。伊万里市民図書館は今年度で開館から20年を迎え、市民との協働に関するこれまでの取り組みから、トップの責任、図書館のこれからの役割まで、実践に基づく具体的なお話をいただいた。図書館だけでなく、行政や地域と連携すること、図書館の既成概念にとらわれず、より多くの人に図書館を利用してもらうために必要なことを考え、実行していくことの大切さを述べられた。

職員研究集会は、平成27年度全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）を研修機会の一つと捉え、この大会への参加を推進することで、今年度は単独での開催はなかった。

相互協力委員会では、平成28年4月の障害者差別解消法施行に向けて、「コミュニケーションボードの作成」をテーマとして活動を行った。コミュニケーションボードとは、文字や話し言葉によるコミュニケーションが難しい方と周りの人たちとのコミュニケーションを助けるためのツールである。県内図書館・図書室のカウンターに設置して、広く活用できるよう

盛り込むべき内容を検討するための調査を実施した。この調査結果を基に、来年度作成に向けて準備を進めていく。

今年度は、日本図書館協会主催の平成27年度全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）を岐阜県で開催するにあたり、県で事務局を設置し、大会実行委員会の委員を本協議会の理事が兼ねることとした。会場は今年度7月に開館した岐阜市立中央図書館、研究主題は「子どもの成長を支える読書の力」として開催した。全国から280名を超える参加があり、図書館における児童・青少年サービスのこれまでの成果と、YA世代や図書館利用に障がいのある子どもたちへのサービスなど今後の課題を考える場となった。

### ●県内公共図書館の動向

前述のとおり岐阜市立中央図書館を含む複合施設である「みんなの森 ぎふメディアコスモス」が開館した。市民が集い、市民と育てる図書館として、新たな一步を踏み出した。

多治見市図書館は、国内有数の「陶磁器資料コレクション」の収集など、地域産業と結びついた、ビジネス支援・産業支援の取り組みが高く評価され、「Library of the Year 2015」大賞を受賞した。

国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」については、平成27年は岐南町図書館、関市立図書館、高山市図書館が開始した。また、

高山市図書館は、歴史資料・デジタル情報検索・閲覧事業を開始するなど、インターネットを活用した資料提供も進んでいる。

### ●岐阜県図書館について

新館開館 20 周年を迎え、記念講演会や展示、「オープンエアで楽しむ図書館」などの事業を実施した。また、3 月には図書館システムを更新し、12 月には県内公共図書館・公民館図書室向けにインターネット画面上で相互貸借の手続きが行えるシステムを新たに導入した。

(岐阜県公共図書館協議会事務局)

## 岐阜県大学図書館協議会活動報告

平成 27 年度、岐阜県大学図書館協議会として次の活動を行った。

- 運営委員会 (7 月 24 日(金) 岐阜大学)
- 総会 (8 月 7 日(金) 岐阜経済大学)
- 講演会 (8 月 7 日(金) 岐阜経済大学)
- 視察研修会 (10 月 28 日(水) 立命館大学図書館びあら (衣笠、びわこ・くさつキャンパス) の施設見学)

総会は、当番大学の岐阜経済大学を会場とし、会務報告の後、以下の項目について協議した。

- (1) 平成 26 年度決算 (案) について
- (2) 平成 27 年度予算 (案) について
- (3) 研修会および講演会 (案) について
- (4) 情報交換

情報交換では、以下の取組等についてそれぞれ説明・紹介を行い、これらについて種々意見交換を行った。

- ・選書に関する基準・方法について
- ・雑誌タイトル・データベース選定に関する

基準・方法について

- ・電子書籍の導入状況、運用、会計処理方法について
- ・図書館内での資料撮影について
- ・ラーニングコモンズの設置状況について
- ・電子書籍について
- ・増書に伴う書庫について

総会終了後に、岐阜経済大学と本協議会との共催で、岐阜経済大学副学長・図書館長の竹内治彦先生による講演会「岐阜県の人口減少問題を考える」を開催した。講演では、岐阜県の人口状況や減少理由、市町村別にみた人口動向と社会移動について分かりやすい説明があり参加者は興味深く話に聞き入った。

視察研修会は、近年大学図書館に自立的学習支援機能の強化が求められていることから、立命館大学図書館のピア・ラーニングルーム (呼称:びあら) (衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス) の見学を行い、9 会員館から合計 16 名の図書館職員が参加した。

「びあら」は単なる図書館の一施設ではなく、学部の教学や学内の他機関等と連携しながら、学びのコミュニティの形成を促す施設として、仲間同士で主体的に学び合える機材整備、学習支援機能が設けられていた。また、空間デザインや配色についても教育デザインを専門とする教員のアドバイスを基に造り込まれており、学生が「来たくなるような心地よい空間」の中での自由な発想、互いが刺激し合える雰囲気促される工夫が凝らされていた。他にもカウンター内に常駐している学生ライブラリースタッフによる情報検索サポートや、ノートパソコン (90 台) の貸出など共同学習スペースとして大変充実しており、多くの学生で賑わっていた。

本協議会は、大学図書館の振興のために、今後も相互に連携を深める活動を積極的に取り組

んでいきたい。

(岐阜県大学図書館協議会事務局)

## 岐阜県学校図書館協議会の研修と活動

岐阜県学校図書館協議会では、下記のように学校図書館の充実発展を図るための研究会や研修会と、児童生徒の読書の振興を図るための各種コンクールを行っている。

### ●研究会、研修会

#### (1) 第1回研究会及び代表者会

(5月27日 岐阜県総合教育センター)

活動計画、予算、研究大会の計画などの協議や連絡をすると共に、県教育委員会学校支援課課長補佐・藤根隆先生より「岐阜県の学校図書館の現状と課題」という題で講話をいただいた。「岐阜県子どもの読書活動推進計画(三次)」についてのお話や、昨年度の図書館経営優良校の紹介もあった。県下各地区から理事や代表者が集い、子どもの読書や図書館教育の推進について共通理解を図ることができた。

#### (2) 夏季ゼミナール

(8月19日 岐阜県図書館)

最初に、「学校図書館との連携」について、岐阜県図書館企画課課長補佐・加藤大志先生より、講話をしていただいた。岐阜県図書館の歴史、県図書館の役割、どうやって活用していけばいいのかを明らかにしていただき、市町村の図書館と並列ではない位置にあるということにあらためて気付かされた。その後、42名が3チームに分かれてバックヤードの見学を行い、閉架図書の高さに目を見張った。すぐに活用できそうな資料が多くあることが分かり、有意義な会と

なった。

#### (3) 第2回研究会及び代表者会

(2月22日 文書提案)

研究会や各種コンクールの報告を行う予定だったが、岐阜市の施設への迷惑行為の影響で、会を開催できなくなり、文書提案となった。また、今年度学校図書館教育最優秀賞受賞校の中で、笠松町立笠松小学校、各務原市立緑陽中学校の2校に図書館教育の実践発表をしていただく予定であったが、学び合う機会を逸してしまい、大変申し訳ないと共に、残念であった。

### ●各種コンクール

- (1) 図書館だよりコンクール(高等学校のみ)
- (2) 読書感想文コンクール(小学校、中学校、高等学校)
- (3) 読書感想画コンクール(小学校、中学校、高等学校)
- (4) 図書館利用記録コンクール(小学校、中学校)

それぞれに多数の参加があり、素晴らしい作品が集まった。

岐阜県独自のコンクールである、「図書館利用記録コンクール」では、複数の図書資料やインターネットを利用しての調べ学習の過程が綴られ、読む人の胸をうつような感動や発見のある作品が集まっている。今後もこうした事業を通して、読書活動等がますます豊かに発展することを願っている。

(岐阜県学校図書館協議会事務局)

## 図書館活動研究大会報告

書店のフェアやPOPのワークショップなど本や読書の楽しさを伝えるイベントを開催しているエア書店「いか文庫」の店主を講師に、POP作りを通して人を惹きつける言葉の選び方や言葉の磨き方の身に付けてもらうため、講演とワークショップを行った。

午前の「いか文庫」の活動紹介では、実際の書店でのフェアやイベントを写真とともに紹介いただいた。アイデア満載の企画内容は、図書館でも今すぐ真似のできるものばかりで、大変参考になった。

午後のワークショップでは、参加者がグループに分かれ、各自持って来た本にPOPをつけ、発表し合った。はじめは「いか文庫」流のPOP作りに戸惑いがあった参加者も、講師のアドバイスを受けながら、最後には力作ばかりのPOPを作成することができた。



### ◆参加者の感想

#### ○講演

- ・たくさんの事例を紹介いただき、とても勉強になった。
- ・図書館でも使えるノウハウが聞けた。

#### ○ワークショップ

- ・POPにもいろいろなキャッチコピーの付け方があると知った。
- ・言葉の選び方、センスが参考になった。
- ・他の人のPOPを実際に見ることができ、参考になった。

(岐阜県図書館協会事務局)

## 平成 27 年度事業報告

### 1 図書館活動研究大会 (60 人参加)

平成 27 年 11 月 19 日 (木) 岐阜県図書館

### 2 資料発行

「会報」(44 号) 平成 28 年 3 月

### 3 会議

理事会 7 月 14 日 (火)

相互協力部会 2 月 16 日 (火)

(岐阜県図書館協会事務局)